

公益信託しまね女性ファンド 平成30年度前期 決定事業一覧

①「魅力ある地域づくり」を推進する活動

| No. | 事業名                           | 団体名            | 実施地                      | 実施予定日              | 事業費総額   |  | 事業概要  |
|-----|-------------------------------|----------------|--------------------------|--------------------|---------|--|---|
|     |                               |                |                          |                    | 助成決定額   |  |   |
| 1   | 金子あい<br>—源氏物語を語る—             | 源氏物語を聞く会       | 出雲市                      | 4月1日               | 370,000 |  | 商店街の恒例行事となった「出雲のひなめぐりin中央商店街」のさらなる活性化を目的に、雛あそびの由来である源氏物語を琴演奏と共に聞く会を催す。地元で活躍している琴クラブも出演し、出雲の地に新たな文化の芽が育つことを期待する。   |
|     |                               |                |                          |                    | 140,000 |  |   |
| 2   | 一日限りの相生座                      | 『相生座』実行委員会     | 大田市                      | 6月23日              | 987,966 |  | 大田の著名な文化人にも影響を与え、文化発祥の地であった「相生座」だが、その名前は市民の記憶から消えつつある。そこで、旧知の方には懐かしく、まだ認知していない方には大田市の文化が繁栄していた時代を知って貰うために「一日限りの相生座」を開催する。併せて、当時の写真展や郷土料理なども楽しめるイベントにし、大田市を知り、誇りに思える契機とする。                     |
|     |                               |                |                          |                    | 500,000 |  |   |
| 3   | シニアリトミックの普及、<br>及び音楽による介護予防事業 | シニアリトミックあんそれいゆ | 江津市<br>大田市<br>松江市<br>出雲市 | 5月～7月              | 445,703 |  | 超高齢化が益々進む中、介護予防事業の必要性が高まっており、心と体を調和させるリトミック(音楽表現活動)は、医療や介護現場で導入され始めている。前年度実施した事業への反応もよく、益々シニアリトミックの普及に努めるとともに、指導者を育成することも展開し、発展を試みる。  |
|     |                               |                |                          |                    | 280,000 |  |   |
| 4   | 三瓶さくら祭<br>六千本桜の里を育てよう         | 志学さくらの会        | 大田市                      | 4月15日              | 398,350 |  | 3回目を迎える事業となったが、徐々に知名度もあがり、地域の協力体制も整ってきた。今回は、広域に分布する桜を存分に楽しみ、もっと地域の魅力に気づいて貰えるよう「桜の里ウォーク」を企画した。併せて、今まで通り、ジビエ料理のふるまいなど地元住民と来場者の更なる交流を図る。   |
|     |                               |                |                          |                    | 230,000 |  |   |
| 5   | 新大田小唄の普及事業                    | 大田小唄保存会        | 大田市                      | 4月～6月              | 752,544 |  | 大田市で古くから唄われていた「大田小唄」だが、近年は聞く機会も少なくなってきた。この度、「一日限りの相生座」の顕彰イベントの企画が進む際に、新たに5番の存在が明らかになったことから「大田小唄」をリニューアルして、顕彰イベントで披露することになった。この機会に併せて、普及活動と、イベントへの出演協力者も募る。多くの市民や、次世代の子ども達に愛されるような唄になることを期待する。 |
|     |                               |                |                          |                    | 460,000 |  |   |
| 6   | 古代出雲の薬草文化を未来へ                 | 古代出雲薬草探究会      | 出雲市                      | 5月～<br>平成31年<br>1月 | 877,226 |  | 出雲風土記には出雲に自生していた草木が記され、うち薬草が半分以上をしめている。それらの植物は現在もほとんどが身近にあるが、薬草への知識や使用方法は知られていない。3年目となる今回は、海藻や希少植物の紫根、古典医学書に着目した講演等を開催するほか、事業内容を小冊子にまとめ、効能や活用術を広く周知する。  |
|     |                               |                |                          |                    | 500,000 |  |   |
| 7   | 表現する喜び<br>～心に響く絵・書・本・音との出会い～  | 浜田子ども達の未来を考える会 | 浜田市                      | 7月7日<br>11月11日     | 314,004 |  | ネットの普及が低年齢化し活字離れが進む昨今、手書きのぬくもりに触れる機会も減りつつある。ふるさとの自然や文化を題材として、テーマークの活動を続けているが、今回はふるさとの緑の芸術作品や本などを展示し、自然や文化への認識を深め、地域への誇りを育むことを目的に開催する。さらに、今までの活動で取り上げたテーマ等をまとめた冊子を作成し配布する。                     |
|     |                               |                |                          |                    | 200,000 |  |   |
| 8   | 大人の女性のまちあそび<br>カレッジ イン アスティ   | アスティママ         | 出雲市                      | 6月<br>12月          | 848,658 |  | 中高年女性を対象に、出雲の伝統と文化を再認識し、地域で生き活きと、誇りをもって暮らすための提案や環境づくりを目的に、年2回のオープンカレッジ(2日間)を開催する。人と人が触れ合い交流することで地域活性化の一助になることを期待する。   |
|     |                               |                |                          |                    | 500,000 |  |   |

|    |                         |                 |     |                |                    |   |
|----|-------------------------|-----------------|-----|----------------|--------------------|---|
| 9  | 一畑薬師の魅力アップと<br>空き店舗活用事業 | 一畑薬師<br>べっぴんさんず | 出雲市 | 8月～11月         | 775,000<br>500,000 | 前年度は、中止を検討されていた事態を回避し、イベントを賑わいのあるものに変えることに成功した。今回は、賑わいの定着と併せて、会場である一畑薬師の活用を通年で行うことでイベントをさらに盛り上げ、地域活性化に繋げる。また、地元住民や学校などと連携をして、地域全体で課題の解決にも取り組む。    |
| 10 | 第2回おばば座まつり              | 劇団「おばば座」        | 雲南市 | 7月1日           | 790,340<br>330,000 | 旧雲南女子大学卒業生で結成した劇団。「笑いで地域を元気に！」を合言葉に活動している。日常生活に起こる身近な問題を、笑いを交えた芝居にして公演を続けて9年目を迎えた。主催するイベントで新作の公演を披露する。声を出して思い切り笑い、過疎や高齢化の中でも前向きに生きることの大切さを伝えている。  |
| 11 | 「中医学的からだの処方箋」<br>連続講座   | あらめ中医学研究会       | 松江市 | 5月～平成<br>31年3月 | 872,000<br>500,000 | 中医学の観点から学ぶ講座を開催して3年目となる今回は、具体的な病状への対処法を学ぶ。また、子育て世代とシニア世代に分けて、それぞれの年代に合った内容で講座を企画する。併せて、身体の気の巡りをよくする気功も取り入れる。さらに、講座の内容を冊子にまとめ配布し、健康な生活を送るヒントを提供する。 |

### ③「次代を担う人づくり」を推進する活動

| No. | 事業名  | 団体名                     | 実施地 | 実施予定日              | 事業費総額<br>助成決定額     | 事業概要  |
|-----|--|-------------------------|-----|--------------------|--------------------|---|
| 12  | 「みんなちがってみんないい」<br>～新しいみずゞ像描いて<br>松本侑子講演会                       | 島根県母親大会連絡会              | 松江市 | 6月17日              | 193,340<br>120,000 | 「島根県母親大会in松江」内の講演として企画する。小学生以上の子どもから子育て世代までの参加を促し、それぞれの個性と違いを認め合い、豊かな地域社会を作っていくための人づくりを目的に開催する。県内各都市の教育機関を会場に順次開催してきたが、今回は一般市民の方にも多く参加してもらえるように公共施設を使用し、すそ野を拡げて、周知を図れるよう企画する。         |
| 13  | ホッとアートプレゼント2018<br>～長期入院の子どもたちのQ<br>OL(クオリティ・オブ・ライフ)向上の<br>ため～ | 特定非営利活動法人<br>しまね子どもセンター | 出雲市 | 6月～12月             | 331,000<br>150,000 | 長期入院の子どもたちの心を癒し、闘病生活の中に笑顔と感動のコミュニケーションの場をつくることを目的に、プロのパフォーマンスや音楽のワークショップを届ける事業。闘病生活では、なかなか音楽に触れる機会が少ないため、心豊かに過ごす体験を通じて子どもたちや、子ども達に関わる大人たちに元気や喜びを届ける場を提供する。                            |
| 14  | 共に関わり、響き合う遊びプロ<br>グラム<br>・1年後のワークショップ<br>・「忍者、多伎のまちをはし<br>る！」  | たきっこ☆キラリ                | 出雲市 | 9月～11月             | 581,600<br>380,000 | 主に多伎町在住の子どもと大人を対象に、遊びを通じて人と関わる楽しさを学ぶ事を目的とした「忍者遊び」を開催する。今回が4回目となるが、地域との協力体制も構築されて来つつあり、自主開催に向けた具体的な内容にも取り組む。継続することでこの事業が定着し地域の人を巻き込み、今までになかった繋がりを生むことで地域全体で子どもたちを暖かく見守り支えていく体制づくりに繋げる。 |
| 15  | 当事者がつくる「いじめや不登<br>校、引きこもり等の児童、生<br>徒、若者の孤立を防ぐ居場所」              | 脱！いじめ・不登校・引きこも<br>り委員会  | 松江市 | 4月～<br>平成31年<br>3月 | 282,210<br>180,000 | 不登校や引きこもりで学校や社会との接触が困難になり、行き場を失っている児童や若者の居場所を提供し、また、社会復帰への支援を目的とした事業。安心して過ごせる居場所の提供と併せて、当事者の現状や心境を理解してもらえるように啓蒙活動にも取り組む。  |
| 16  | スライドとお話でたどる児童文<br>学の旅  | 出雲ブックトークの会              | 出雲市 | 5月20日              | 192,000<br>120,000 | 島根県は子ども読書推進県として全ての小中学校に司書を配置しており、読書を学校の経営方針などに盛り込んでいる学校も多い。ネット社会が進む今だからこそ、豊かなコミュニケーションを築くための語彙力を高めるために良質な読書が必要である。そこで、子ども達と本をつなごうとしている人達を対象に、児童文学の理解を深め魅力を知ってもらうことを目的に開催する。           |

|    |                |               |     |      |         |  |
|----|----------------|---------------|-----|------|---------|--|
| 17 | つながるガレッジvol. 6 | つながるガレッジ実行委員会 | 出雲市 | 7月8日 | 881,000 | 子育て世代の人と人、物と人、地域と人を繋げることを目的に開催する。主に出雲地域の子育て世代の親たちが、気軽に交流が図れる場を個人主催で提供してきたが、個人での限界を感じ実行委員会を立ち上げた。つながれる空間と憩いの場から更なるネットワーク構築の契機となるよう期待している。 |
|    |                |               |     |      | 500,000 |  |

|              | 申請件数   | 助成希望額     |
|--------------|--------|-----------|
|              | 助成決定件数 | 助成決定額     |
| ①魅力ある地域づくり   | 12件    | 4,810,000 |
|              | 11件    | 4,140,000 |
| ②男女共同参画社会づくり | 0件     | 0         |
|              | 0件     | 0         |
| ③次世代を担う人づくり  | 6件     | 1,450,000 |
|              | 6件     | 1,450,000 |
| ④水と緑豊かな環境づくり | 0件     | 0         |
|              | 0件     | 0         |
| 合計           | 17件    | 5,590,000 |